

報道関係者 各位

2018年11月15日

人びとの生活や文化といのししのかかわりを探る

**2018年度 年末年始展示イベント「いのしし」**

国立民族学博物館で2018年12月6日(木)から開催

国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園 10-1)では、2019年の干支である「いのしし」をテーマにした年末年始展示イベント「いのしし」を2018年12月6日(木)から開催するはこびとなりました。

干支展は2005年の酉年から始まり今年で15回目となります。新年の招来を祝い、ご来館のみなさまへ歓迎の気持ちを含めた、みんぱくならではの展示です。今回の干支は「いのしし」。いのししのかたちに焦点をあて、人びとの生活や文化といのししとのかかわりを展示をとおして紹介します。



アルプ行列の人形



土鈴

**【展示コンセプト】**

基本テーマは「いのししのかたち」。

人類はいのししと長い歴史の中でさまざまな関係を築いています。ヒトは、いのししを狩り、買い、食べ、道具として使います。そして見た目を愛で、その姿かたちを人形にしたり、絵の題材にしたりしています。本展示では3つのコーナーから、人類がいのししの「かたち」のなにに関心を抱いているのかについて紹介します。

**【資料点数】 約 160 点**

## 【コーナー紹介】

### 1. かざる

このコーナーでは、いのししの身体の一部を使用した装飾品を中心に紹介します。特徴的であるいのししの「渦巻く牙」は、おそらくは加工のしやすさやかたちの面白さもあって、世界各地で幅広く使用されてきました。特にオセアニアの地域では、そうしたかたちへの偏愛が文化の中からも見てとることができます。

さまざまな形をした胸飾りや鼻飾りなどの装飾品を生み出すだけでなく、それらの道具が成人儀礼と密接に関わっている地域もあるほどです。そうした牙の装飾品について紹介します。

またそれと対照的なかたちで、牙以外のいのししの身体の部位を利用した、いのししの尻尾が使われた楽器や網袋、歯で作られたネックレスなどの装飾品も展示します。

### 2. つかう

このコーナーでは、いのししの部位を使用したもののなかでも生活用具に類するものを展示します。装飾品とは異なり、実用的な道具がいのししのどこを使い、何に使用されていたか紹介します。いのししという同じ素材から釣り針、靴、盾、楽器、スプーンなどさまざまな道具が生み出されている様子を一望することで、人間の素材活用の貪欲さ、創意工夫の巧みさなどを感じていただきたいと思います。

### 3. めでる

このコーナーでは、いのししのからだのかたち全体を使用した愛玩具や絵画を中心に取り上げます。いのししのかたちが、人間の想像力をいかに刺激してきたのかを、人形をはじめとする世界各地の造物物からみていきます。

日本の資料からは、絵馬、土鈴、土人形などを展示します。とくにいのししの顔にはそれぞれ個性があり、見た目も楽しいものが多いことも感じていただけます。

あわせて、日本以外の世界各地におけるいのししのかたちをもとにして作られた人形などの資料も紹介します。両者を比べてみることで、世界各地でいのししの表象の違いが、視覚化できるように展示します。

## 【開催概要】

展覧会名	年末年始展示イベント「いのしし」
日時	2018年12月6日(木)～2019年1月22日(火) 休館日：水曜、12月28日(金)～1月4日(金)
会場	国立民族学博物館 本館展示場 ナビひろば
プロジェクト チーム	丹羽典生(国立民族学博物館 准教授)、野林厚志(同教授)、上羽陽子(同准教授)、日高真吾(同准教授)、園田直子(同教授)、大澤由美(同機関研究員)、末森薫(同機関研究員)、教職員研修チーム、企画課、情報課
観覧料	一般 420 円／高校・大学生 250 円／中学生以下無料(本館展示と共通)
主催	国立民族学博物館

## 【関連イベント】

## ・ワークショップ

## 「かざってポン！へんしん いのしし」

世界中の人びとが、いのししの牙をつかってからだをかざっています。きみなら、どんな風にからだをかざるかな？ スタンプや色えんぴつなどをつかって、絵を描くワークショップです。

開催日：2018年12月9日(日)、2019年1月14日(月・祝)  
対象：子どもから大人まで(未就学児は保護者同伴でご参加ください)  
時間：10:00～17:00(16:30 受付終了)  
場所：本館1階 エントランスホール  
参加費：無料(本館展示場をご覧の方は、展示観覧券が必要となります)  
定員：各日 200名(当日随時受付・先着順)

## ・みんなくミュージアムパートナーズ(MMP)企画

## 「干支の亥(いのしし)で絵馬をつくろう」

本館展示場で亥(いのしし)の資料をスケッチして、絵馬をつくろう。

開催日：2019年1月13日(日)  
対象：3歳以上(未就学児は保護者同伴でご参加ください)  
時間：10:30～17:00(15:30 受付終了)  
場所：本館1階 エントランスホール  
参加費：無料(要展示観覧券)  
定員：80名(当日随時受付・先着順)

## 「おりがみで遊ぼう！干支シリーズ(亥)」

おりがみで2019年の干支「亥(いのしし)」をつくろう！

開催日：2019年1月14日(月・祝)  
対象：5歳以上  
時間：10:30～11:00/11:00～11:30/11:30～12:00  
13:00～13:30/13:30～14:00/14:00～14:30(各回20～30分程度)  
場所：本館1階 エントランスホール  
参加費：無料  
定員：各回10名(当日受付・先着順)

2018年度年末年始展示イベント「いのしし」広報用画像リスト



1. 首飾り(インド)



2. 帽子(インド)



3. 編袋(パプアニューギニア)



4. アルプ行列の人形(スイス)



5. 土鈴(日本)



6. 仮面(ペルー)

■ これらの広報用画像はデータにて提供可能です。■ ご希望の画像があれば広報用画像利用申込用紙にてお申し込みください。

2018年度 年末年始展示イベント「いのしし」  
広報用画像利用申込用紙〔メールでお申し込みの場合〕 [koho@idc.minpaku.ac.jp](mailto:koho@idc.minpaku.ac.jp)

〔FAXでお申し込みの場合〕 FAX 番号: 06-6875-0401

【ご希望の画像番号】

--

【貴社・貴機関についてお知らせください。】

貴社・貴機関名	媒体名
ご担当者名	所属部署
ご住所 〒	E-mail
電話番号	FAX 番号
ご掲載・放映の予定日が決まっている場合	年 月 日

【プレゼント用招待券】（ご希望の場合はどちらかにチェックを入れてください）

 3組6枚     5組10枚

【広報に関するお願い】

- 写真使用に関するお願い、注意事項
  - ・クレジットには「国立民族学博物館蔵」と記載してください。
  - ・写真（画像）のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。
  - ・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- 本館の基本情報等の確認のため、メールまたはFAXにて、掲載記事、番組内容の原稿等を下記連絡先までお送り願います。
- お手数ですが、掲載紙・誌または録画媒体を2部お送りください。

【お問い合わせ・送付先】

国立民族学博物館 総務課広報係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
TEL: 06-6878-8560 (直通) FAX: 06-6875-0401 メール: [koho@idc.minpaku.ac.jp](mailto:koho@idc.minpaku.ac.jp)